

2026年3月期 中間決算説明資料

ガリレイ株式会社

証券コード：6420(東証プライム)

ガリレイ株式会社

GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役社長 福島 豪

資本金:27億6千万円

従業員:2,921名（2025年3月末現在）準社員込

連結売上高 :1306億39百万円(2025年3月期)

連結経常利益 : 171億75百万円(2025年3月期)

上場：東証プライム市場

事業の概要



冷凍冷蔵
ショーケース



フードサービス



医療・理化学製品

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します



大型食品加工機械



大型パネル
冷蔵設備



小型パネル
冷蔵設備



サービス

2026年3月期 決算のポイント

売上高
68,003百万円
(前年比11.5%増)

営業利益
8,025百万円
(前年比15.0%増)

親会社株主に
帰属する
中間純利益
5,771百万円
(前年比11.7%増)

○売上高

■冷凍冷蔵ショーケース販売 売上高：27,818百万円(前年比9.0%増)

スーパー・マーケット向けの省エネ改裝需要が継続。

コンビニエンスストア向けの自然冷媒を採用したショーケースの販売も引き続き堅調に推移。

■フードサービス販売 売上高：15,973百万円(前年比11.3%増)

外食産業のインバウンド需要等により主に飲食店向けの汎用冷凍冷蔵庫の売上が増加。
大手外食チェーン向けに日本洗浄機の食器洗浄機や自動ゆで麺機の売上が堅調に推移。

○営業利益：人件費増加は継続しているが、

冷凍冷蔵ショーケース販売やサービス販売を中心に増益。

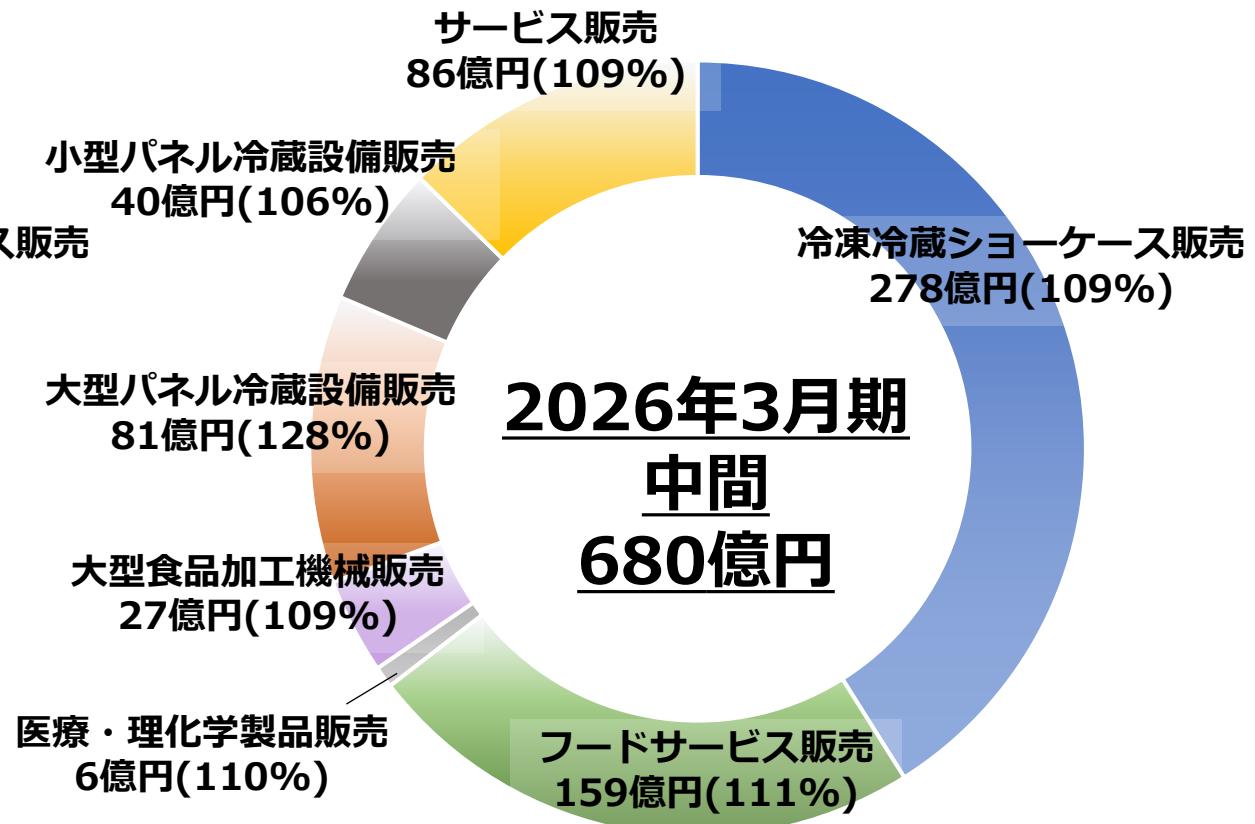
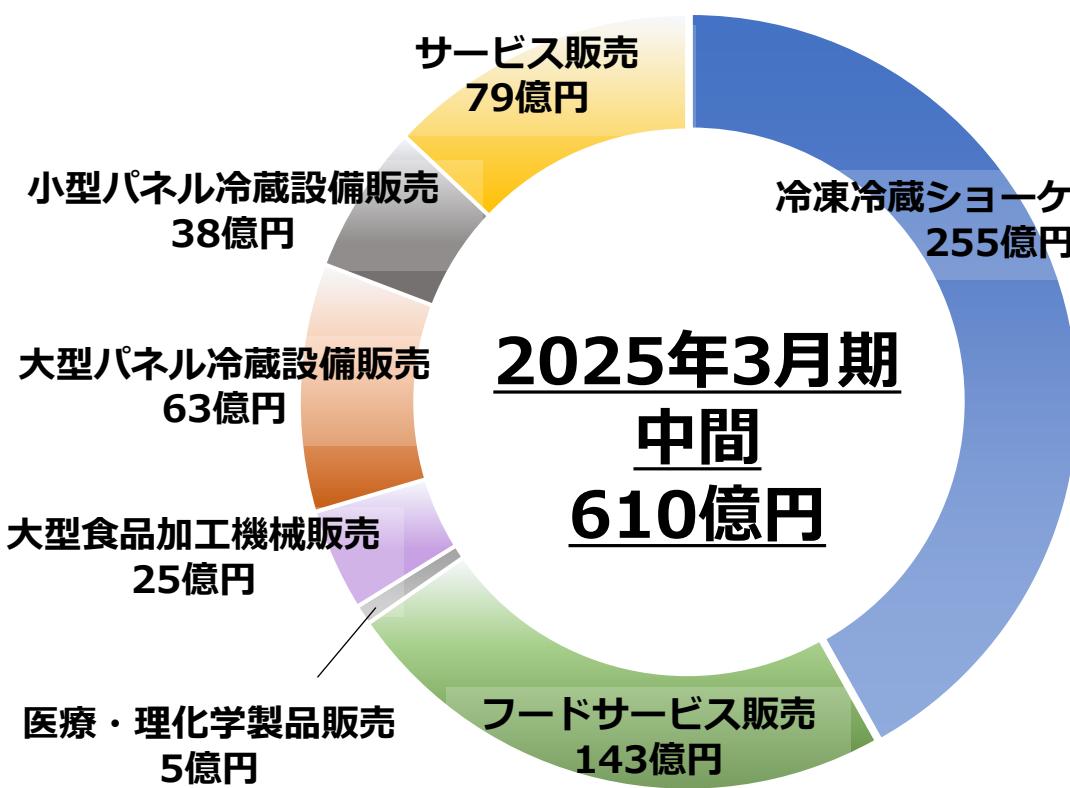
2026年3月期中間業績概要

連結損益計算書サマリー

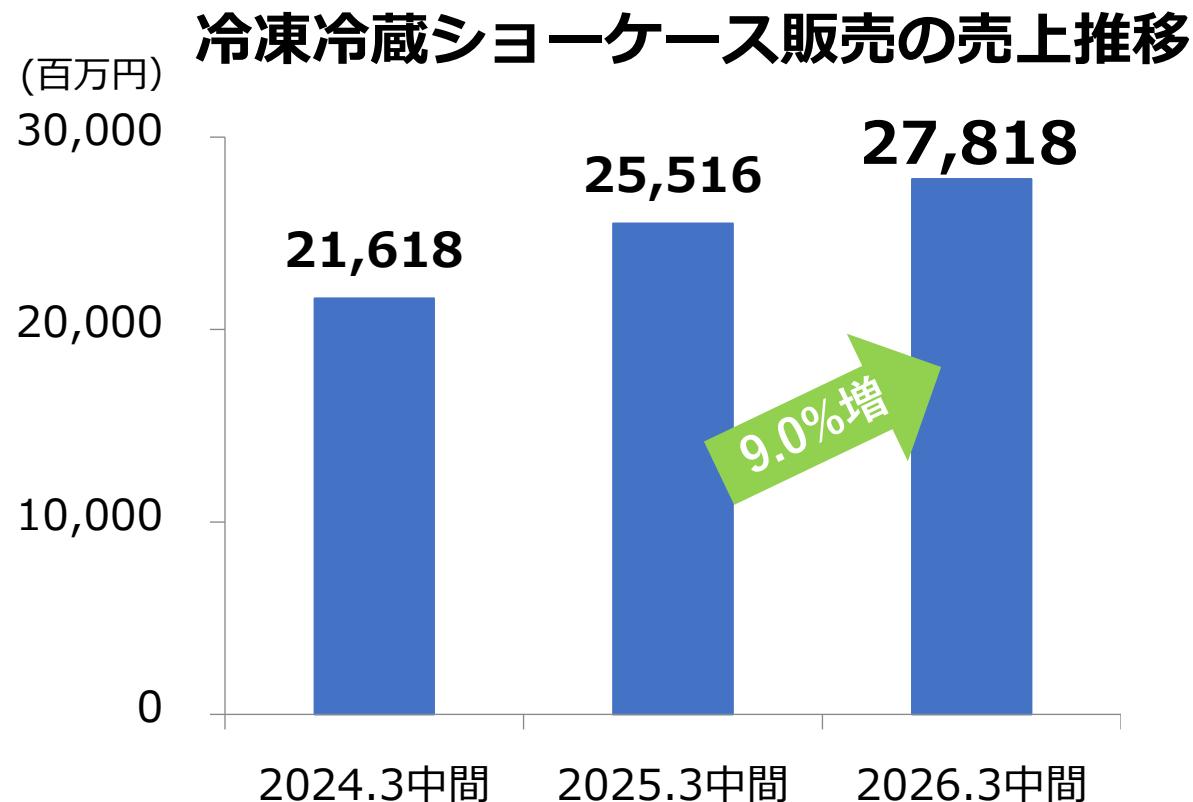
単位：百万円

	2025年3月期中間		2026年3月期中間		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	61,011	100.0%	68,003	100.0%	111.5%
売上原価	44,523	73.0%	49,027	72.0%	110.1%
売上総利益	16,487	27.0%	18,976	27.9%	115.0%
販売費及び一般管理費	9,512	15.6%	10,951	16.1%	115.1%
営業利益	6,975	11.4%	8,025	11.8%	115.0%
経常利益	7,098	11.6%	8,410	12.4%	118.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	5,166	8.5%	5,771	8.5%	111.7%

販売区分別売上高構成比(売上,前年比)



スーパーマーケット向け売上が牽引し、 売上高前年比9.0%増



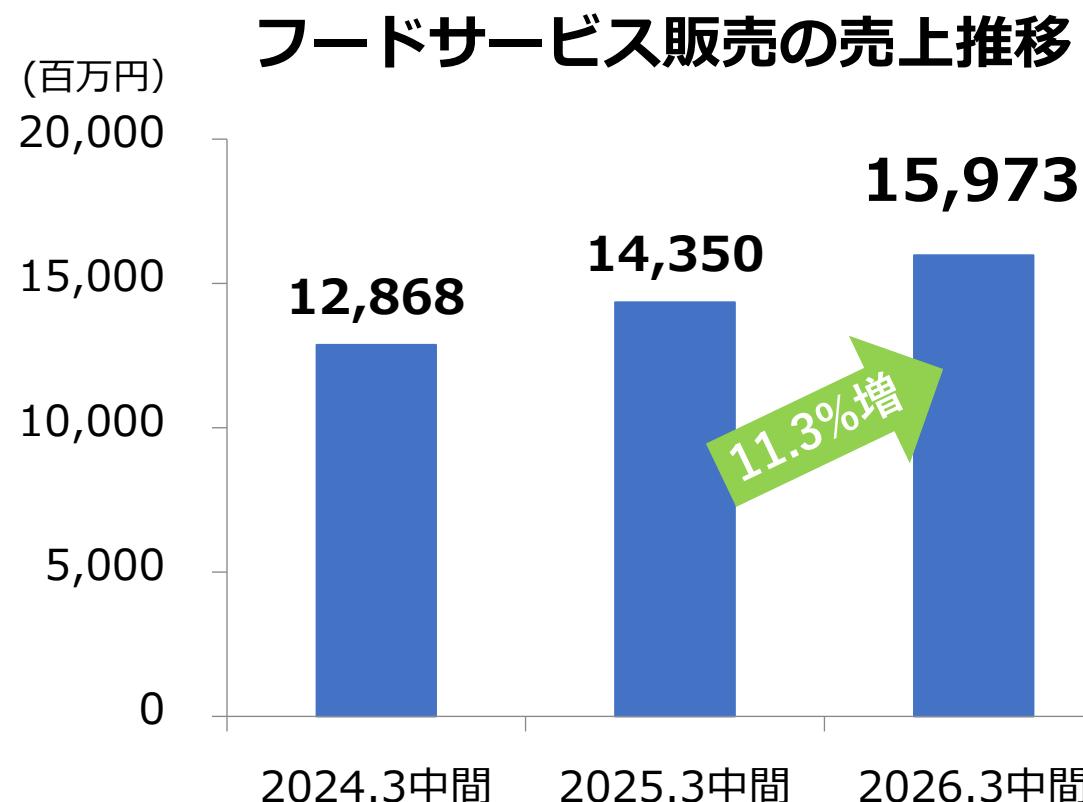
GX



トピックス

- ・消費者の節約志向や店舗の人手不足の継続、人件費高騰で設備投資に慎重な反面、スーパーマーケット向けの省エネ改裝需要は継続
- ・コンビニエンスストア向けの自然冷媒採用ショーケースへの入れ替えも計画通り進行し堅調に推移
- ・2025年4月より「冷媒ガス漏れ10年保証 メンテナンス契約」を開始。冷却不良に直結する「冷媒ガス漏れ」に特化した契約で顧客への販促を強化。

回復基調な国内外食産業向けに ユーザー営業強化で売上伸長



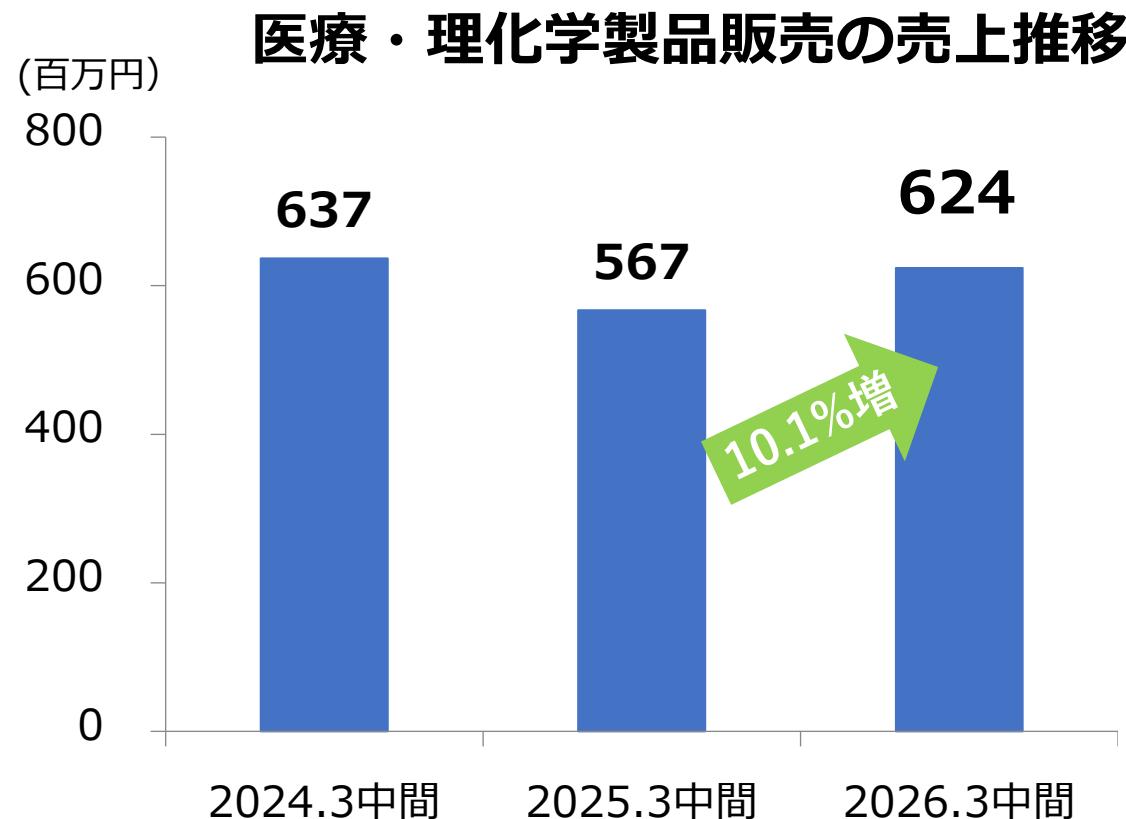
冷媒ガス漏れ
10年保証



トピックス

- ・ユーザー営業強化が少しずつ実を結んだことで、外食産業向けに主要機種である冷蔵庫・製氷機の売上が増加
- ・前期グループ入りした日本洗浄機の売上も約15億円(前年比24%増)で売上増の要因
- ・2024年4月ノンフロン冷媒R1234yf採用の業務用冷蔵庫・製氷機を対象にスタートした「冷媒ガス漏れ10年保証」が、2025年4月より当社製造の冷凍機内蔵型製品の全機種対象に拡大

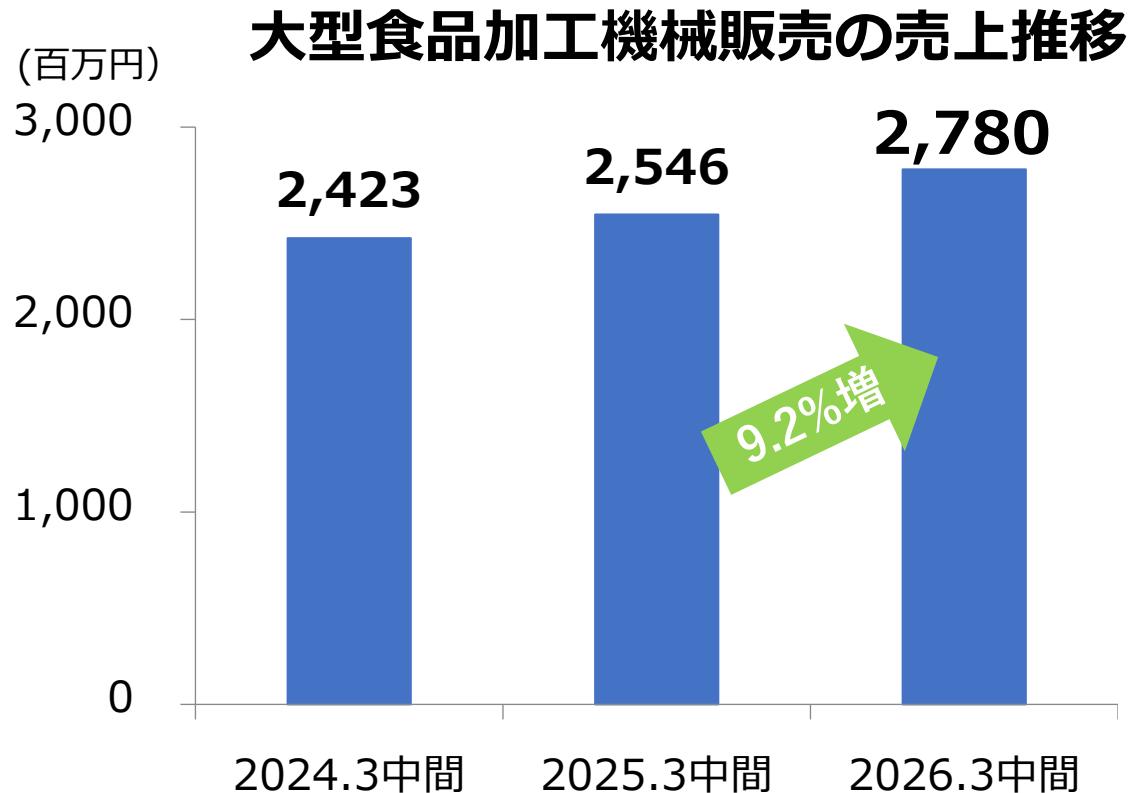
メディカル製品の販売台数及び売上増加で回復基調へ



トピックス

- ・調剤薬局やドラッグストアチェーンでの入替需要や価格改定により、薬用保冷庫等の販売台数・売上は増加が継続
- ・ガリレイ未来医療国際拠点GIFT(ギフト)を開設し、自動大量細胞凍結装置の開発にて、再生医療製品等の開発や実用化促進に貢献していく
- ・製薬、大学向けに超低温フリーザーやメディカルフリーザーの販促を強化

食品メーカーの投資意欲が回復基調で 売上高前年比9.2%増

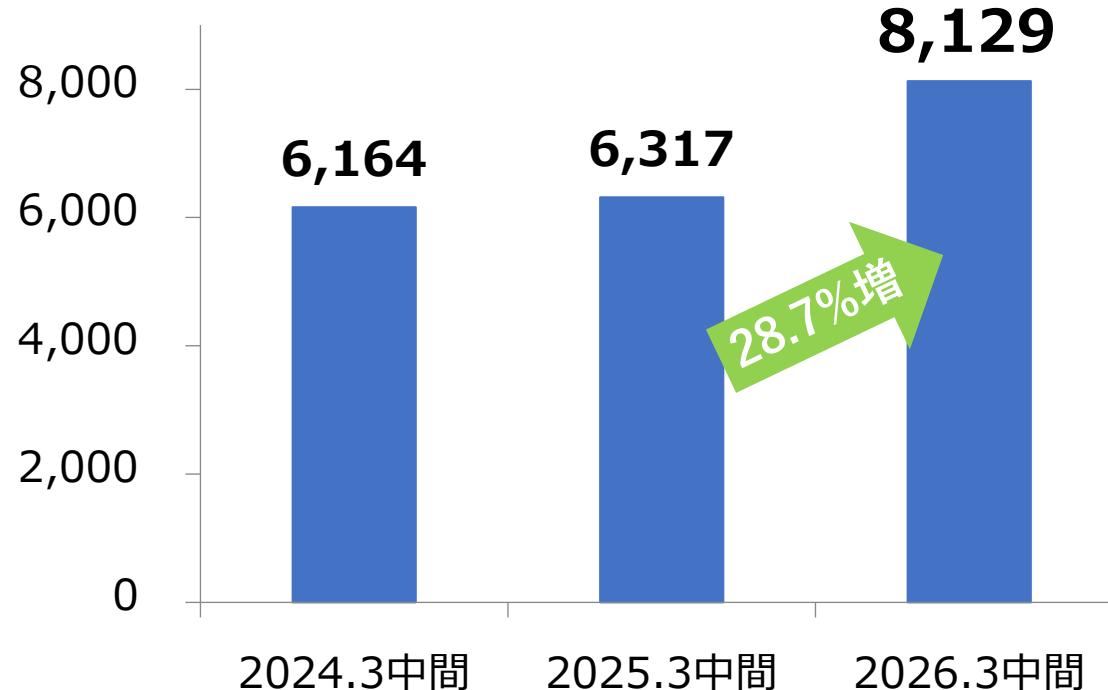


トピックス

- ・冷凍食品メーカーや食品工場案件が堅調に推移
- ・売上内訳(連結調整前)
 - トンネルフリーザー事業<タカハシガリレイ>
2,399百万円(前年比11.3%増)
 - ラインコンベヤ事業<ショウケンガリレイ>
734百万円(前年比12.4%増)

好調な物流・食品工場案件に グループ全体で取り組み売上大幅増

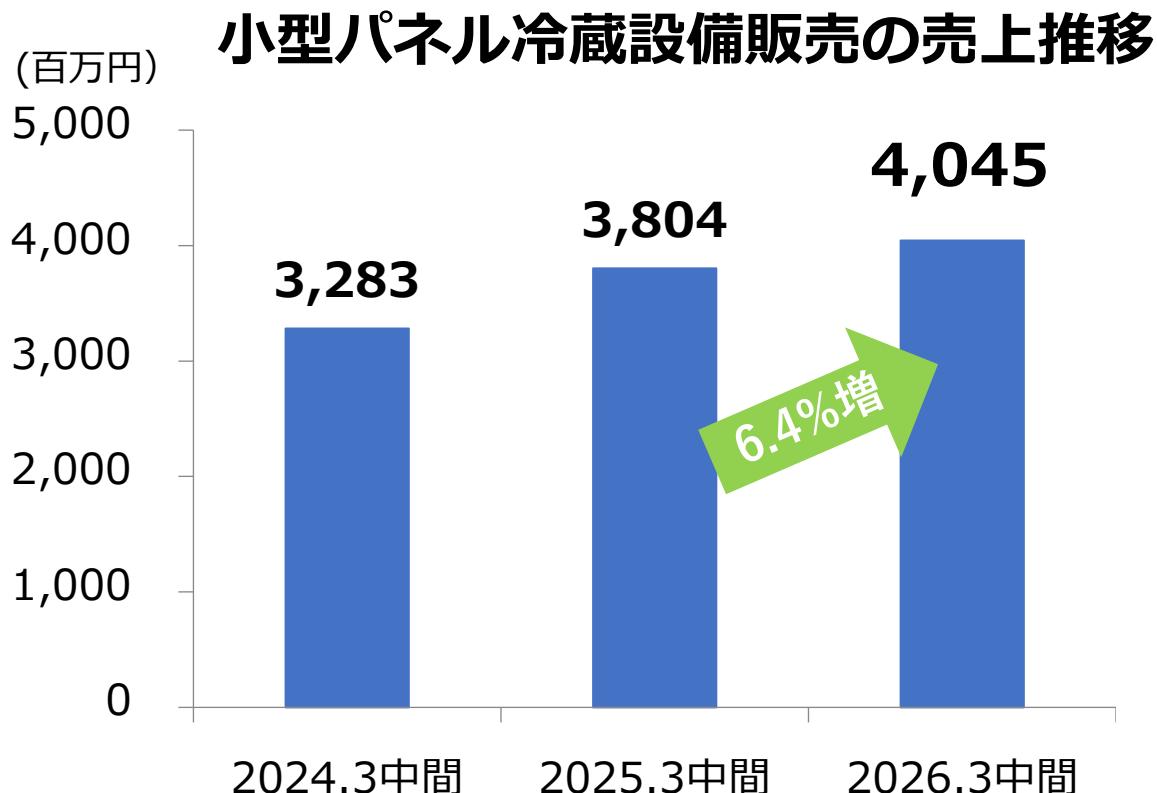
(百万円) 大型パネル冷蔵設備販売の売上推移



トピックス

- ・物流の2024年問題による拠点集約化や主要都市での冷蔵倉庫の満床化・老朽化などによる物流センター・冷蔵倉庫の建設需要が継続
- ・スーパー・マーケットのプロセスセンター・食品工場の需要も継続

スーパー・マーケットやコンビニ向けを中心に販売が好調で売上高前年比6.4%増

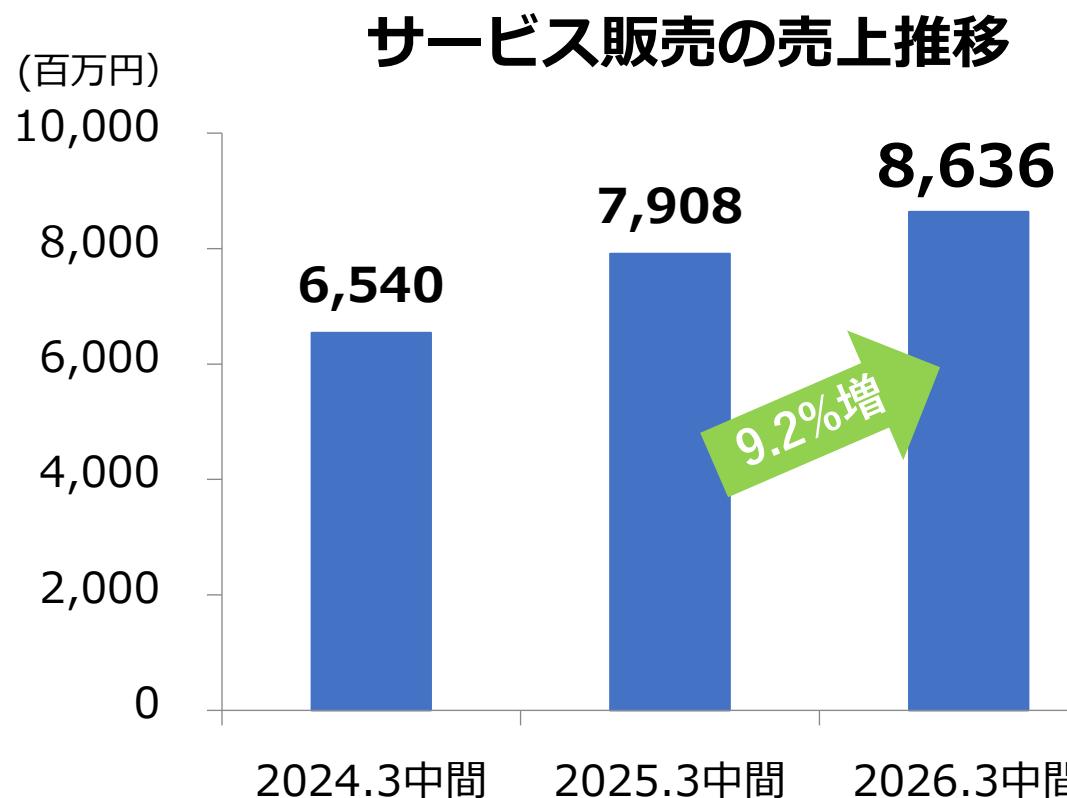


トピックス

- ・グループの販売網を活用し、スーパー・マーケットやコンビニエンスストア向けの販売が継続
- ・一部外食チェーンも同様に販売が堅調に推移
- ・医療医薬向けクリーンルームパネル内装システム「PURE CIS～ピュアシス～」を販売開始

サービス販売

外食・流通産業向け 両方の売上が堅調に推移



速やかに不具合を解消することで故障を未然に防止します。



トピックス

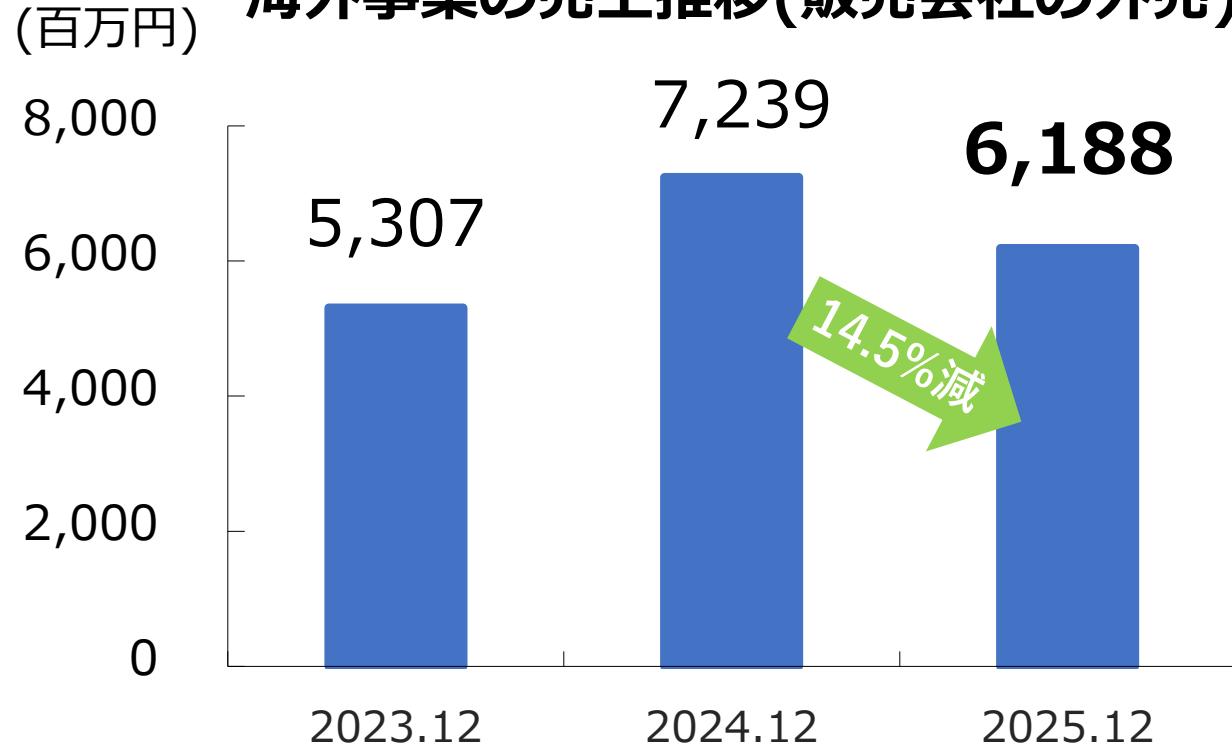
- ・スーパー定向けの冷凍冷蔵ショーケースのメンテナンス売上が継続して堅調に推移
- ・フードサービス販売の売上増加に伴い、冷凍冷蔵庫などのメンテナンスの売上も増加
- ・「Zero Call Company (ZCC)」
AIを活用したスマート診断の精度向上とプレメンテナンス拡充を実施し、「冷媒ガス漏れ10年保証」を推進し、製品故障に伴うフードロスの低減や冷媒漏洩量の削減に貢献

海外事業トピックス

GGV2030重点国のうち

- ・インドネシアは堅調に推移
- ・ベトナム、タイは売上減少

海外事業の売上推移(販売会社の外売)



トピックス

- ・アネカシトラリフレンド社のグループ入りが奏功しインドネシア売上伸長
- 主な国別売上高
- | 国 | 前年比 増減 |
|--------|--------|
| インドネシア | 44.1%増 |
| ベトナム | 35.9%減 |
| 香港 | 40.1%減 |
| タイ | 19.6%減 |

初の海外ショールーム「F'S DESIGN COURT」立ち上げ

2025年4月 タイのバンコク

5月 ベトナムのホーチミン

7月 インドネシアのジャカルタにオープン

これまで培った凍結解凍技術などのソフト提案を強化
ローカルユーザーとつながり新たな食ビジネスを創造

タイ バンコク (4月)



ベトナム ホーチミン (5月)



インドネシア ジャカルタ (7月)



連結貸借対照表

単位：百万円

	2025.3	2026.3中間期	増減
流動資産	96,318	92,313	▲4,005
固定資産	45,244	53,229	7,985
総資産	141,562	145,542	3,980
流動負債	36,032	35,734	▲298
固定負債	2,323	4,034	1,711
負債合計	38,356	39,769	1,413
純資産合計	103,206	105,773	2,567
負債純資産合計	141,562	145,542	3,980
自己資本比率	72.4%	72.2%	+0.2pts

★Point★

○有形固定資産(建物等)

- ・滋賀(湖南)工場
- ・関東サービスセンター
- ・福岡支店

○土地

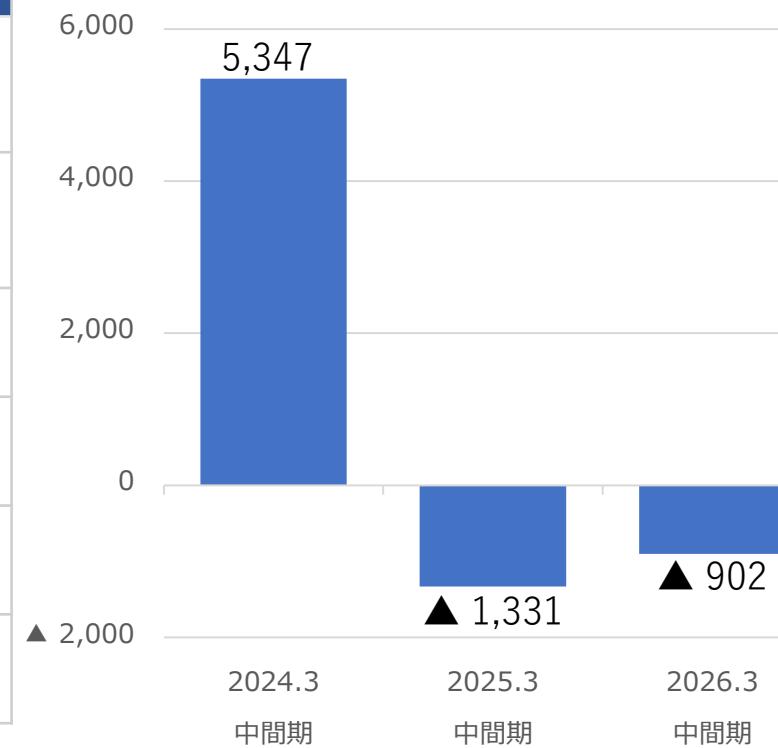
- ・岡山工場 新棟建設用地
- ・GPC 新工場建設用地

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2025.3 中間期	2026.3 中間期	増減	当期の主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	4,969	5,825	856	税金等調整前中間純利益 減価償却費 法人税等の支払額
投資活動による キャッシュ・フロー	▲6,300	▲6,727	▲428	有形固定資産の取得による支出▲6,882
財務活動による キャッシュ・フロー	▲2,103	▲2,971	▲868	配当金の支払額
現金及び現金同等物に 係る換算差額	158	▲154	▲312	
現金及び現金同等物の 増減額	▲3,277	▲4,028	▲751	
現金及び現金同等物の 期末残高	50,748	48,800	▲1,948	

フリーキャッシュフロー推移



■ 冷凍冷蔵ショーケース事業 滋賀第二工場建設

2026年12月稼働予定
約30%生産能力増強
年間60,000台へ (現工場と合わせて)

大規模成長投資補助金を活用

投資予定総額 : 約100億円
補助想定額 : 28億円

基本
仕様

- ・ ショーケース事業のマザーワーク場
(次世代の高付加価値製品を開発・生産する
ショーケース事業の新たな研究開発拠点)
- ・ 環境配慮型拠点 (CO₂フリー工場、ZEB取得)
- ・ 外観デザインは環境保全配慮を基本魅せる工場
(近隣学生など積極的に見学受入れ)
- ・ 新規採用60名計画 地域雇用創出

滋賀(湖南)新工場 外観イメージ



■岡山工場 新配送センター建設

お客様からの多様なニーズに応え出荷台数 500台/日へ

- ・2025年6月稼働開始
- ・**投資額：29億円**
- ・6,000台以上の製品収容能力（旧配送センターの**1.5倍**）
- ・入出庫能力を2倍以上に



岡山工場新配送センター外観

配送システム「G-TRANSPORT」導入

- ・配送手配業務のIT化により業務の標準化
→大幅な業務短縮を実現
- ・製品配送のトラッキングデータを社内インターネットで共有
→製品出荷に関する問い合わせレスムーズに対応可能



■バリューアップセンター

「人とともに技術を育て、
食といのちの未来を拓く育成・開発拠点」

投資予定総額：約36億円

建物着工 : 2025年10月

建物竣工 : 2027年3月予定

【バリューアップセンターの機能】

- ・ガリレイアカデミーの研修施設としての機能に加え、大阪に開発の拠点を設ける
- ・次世代のコールドチェーンを担う技術者の人材育成拠点
- ・社外の方にも活用できるようにし、業界全体の技術者不足解消や技術力の底上げを目指す

ガリレイアカデミー卒業生
合計195名



バリューアップセンター
外観イメージ



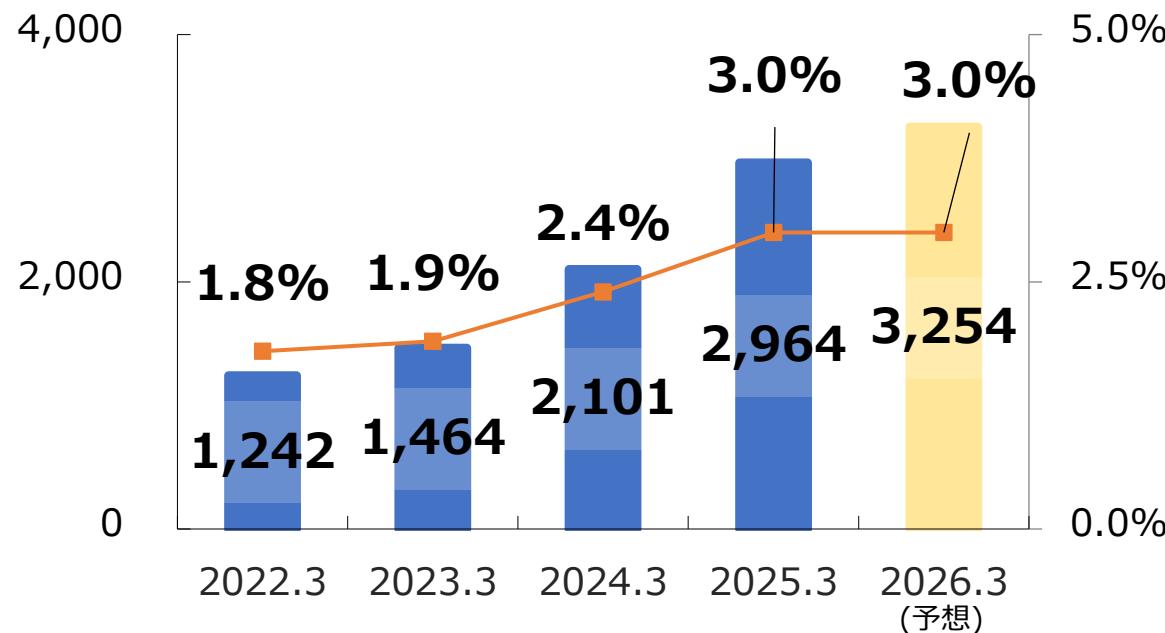
株主還元方針

2025年3月期～2027年3月期の3年間の基本方針

基準：DOE 3% ※DOE…連結株主資本配当率

DOE・配当総額の推移

単位：百万円



ROEの推移

2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
14.3%	12.3%	11.4%

2026年3月期の配当予想

期末配当予想 **81円(7円増配)**
配当性向 **26.6%**(25.3月期：24.7%)

2026年3月期 通期業績予想

連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2025年3月期(実績)		2026年3月期 (予想)		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	130,639	100.0%	137,734	100.0%	105.4%
売上原価	94,541	72.3%	99,536	72.3%	105.3%
売上総利益	36,098	27.6%	38,199	27.7%	105.8%
販売費及び 一般管理費	19,526	14.9%	21,275	15.4%	109.0%
営業利益	16,572	12.7%	16,924	12.3%	102.1%
経常利益	17,175	13.1%	17,604	12.8%	102.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,008	9.2%	12,190	8.9%	101.5%



Be cool, Be alive.

ガリレイ株式会社 総務グループ 経営企画課

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。

実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知ください。